

福島教区報

教会数 123ヶ所
布教所数 109ヶ所
よみほく数 3344人
(R18年9月末現在)

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

陽気ぐらし世界実現に向けて！新教区体制がスタート！！

教区長就任あいさつ

去る3月26日に真柱様より6期目の教区長の任を拝命致しました。

平成から新元号に代わると共に、日本を始め世界事情も大きな変化の流れにある今日。その現代社会がかかえる様々な厳しい状況を思うと、陽気ぐらし世界実現に向かって、縦の系統活動と共に、横の教区支部活動の今日的意義はますます大事な動きと なってきます。

福島教区としても、親神様の思召に沿い きって、地域活動を推し進め、横でのたす け合いの輪を、人材育成の場を、そして陽 気ぐらしの輪を広げて行けたらと存じます。

ありがたいことに、今年の前半期にはご 本部の親心と教区管内の皆様方の真実で進 められていきます教職舎も竣工の運びとなり ます。その真実のこもった新教職舎を通し て、形のふしんから心のふしんにとおおい に励ませて頂きたいと存じます。

与えられた3年の任期中、をやの思いに 沿いきり、をやの理を戴く努力を重ね、管

内皆様方の更なるお力添えをいただいて、大役をつとめさせていただきたいと存じます。前期同様、何卒ご教導の程を宜しくお願い申し上げます。

また、引き続き、教区、各支部、各部各会の旬の活動の上にと、尚一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

平澤 勇一

陽気ぐらし世界実現に向け たすけ合いの輪を広げよう！

をやの理を戴く努力を重ね、地域活動の活性化を

毎月2日 教区の月次祭を執行(1月は3日)

4月2日は「教区祭」の執行

をやの思いに素直に沿いきり、地域活動の活性化を！

「ご本部からの旬の声、各部各会からの旬の声に素直に沿いきり、管内一丸となって、活動を推進し、地域活動の活性化を

陽気ぐらしの人材育成を目指し、地域活動の活性化を！

各部各会が連携し、信仰の入り口と、信仰を学び高める場を提供し、人材育成に励み、地域活動の活性化を

ようぼくのネットワーク作りを進め、地域活動の活性化を！

横の活動の核となるネットワーク作りを推進し、たすけ合い・励まし合いの輪を広げ、地域活動の活性化を

立教182年度 教区役職者・支部長紹介

総務部長・会計部長 厚生部長・会計部次長 教務部長・管理営繕部長 布教部長 育成部長・一れつ会担当 書記（教務）・祭事部長・輸送部長 書記（会計）	荒井忠弘主事 二瓶善一郎主事 渡辺正彦主事 橋本忠知主事 生江一行主事 小野 修主事 國分一志
---	---

福島支部長	樫 秀教	安達支部長	本田道弥
郡山支部長	柏村和義	田村支部長	荒井しづ
耶麻支部長	齊藤容久	会津支部長	古川善一
いわき支部長	梅井真治	相双支部長	目黒 淳

立教182年度 各部・各会 活動方針 及び 活動計画

布教部

部長 橋本忠知

管内教会の布教活動の上に、少しでもお役に立てるよう勤めさせていただき所存です。

- 全教一斉ひのきしんデーの充実
- 全教一斉においがけデーの充実
- ようぼく成人講座の全支部開催
 （※福島教区バージョン・新プログラム）
- 陽気ぐらし講座の開催

基礎講座事務局

事務局長 古関清人

天理教の紹介とその教えを通して、人間本来の幸せな生き方を考える講座です。 講座時間は約90分、内容は講師のお話、ビデオで天理教を信仰している方はもちろん、はじめて天理教の教えを聞く人にも分かりやすく説明しています。

今年左記の日程で開催致します。是非、お近くの会場にご家族、知人をお誘いいただき、布教の手立てとしてご利用下さい。（※受講年齢 15才以上）

7月14日（日） 13時30分、 福島テルサ
 9月15日（日） 13時30分、 喜多方プラザ文化ホール
 11月17日（日） 13時30分、 二本松市民交流センター

婦人会

主任 平澤栄美

【成人目標】

「ひながたをたどり、
陽気ぐらしの台となりましょう」

【活動方針】

「ご恩報じを念じ、実のようぼくに育つ

- 一、教えを学び、身につける
- 一、身近な人を実のようぼくに育てる
- 一、百万会員を目指して、
にいがけ・おたすけに励む

創立百十周年を目指して

一人が二人の会員を「ご守護頂きましょう」
婦人会は立教183年に創立110周年を迎えます。今年、「会員決起の集い」が国内海外各地で開催されます。「きっと見つかる、今の自分ができること」。日々の暮らしの中で生かせるヒントが見つかります。お互いに誘い合って、たすけ合って、勇んで通らせて頂きましょう。

【本年の主な活動】

- 4月19日 天理教婦人会第101回総会
- 6月3日 福島教区婦人会総会
- 11月30日 母親講座・婦人の集い

女子青年も活動を行っております。



11月3日
第29回女子青年大会
前日、夕づとめ後
よろこびフェスティバル



- ・プログラムは約2時間半
- ・参加費 500円
- ・高校生以上ならどなたでも参加できます

天理教婦人会創立110周年会員決起の集い会場一覧

【福島教区】

開催日	開始時刻	会場	交通アクセス
5/18(土)	13:00	ばんこ 磐湖分教会	磐越西線JR川桁駅より徒歩3分・磐越自動車道猪苗代磐梯高原ICより車5分
6/30(日)	13:00	福島教務支庁	福島駅徒歩15分・福島駅東口循環バスももりえコース新浜公園入口徒歩3分
8/31(土)	13:00	福島教務支庁	
9/14(土)	13:00	いわき平大教会	JRいわき駅西方向徒歩10分

青年会

委員長 牛坂直之

【基本方針】 「世界たすけへの挑戦」

前期に引き続き委員長を続投する事になりました。さて、青年会は昨年の創立百周年大会を過ぎ、もしかしたら燃え尽きたのでは？と考えてしまう方々もいらっしやるかと思いますが、そんな事は御座いませんのでご安心下さい。

福島教区青年会の本年の活動は「においがけ」に重点を置いて行きたいと思っております。ありがたい事に、勢いを維持出来るよう毎月各支部で巡回をし、支部青年会と共に自宅訪問や路傍講演を行い、道の用木として共々に成長出来るような活動をして行きたいと思っております。また、BBQやフットサル等の行事も計画しておりますので、そちらも各教会の青年会員をお誘い併せの上での参加や促しを宜しくお願いたします。教区行事に来て良かったと必ず言わしめる様に致します。

本年も何かとご迷惑やお手数をかけてしまう事も御座いますが、我々青年会員が成人するためにもご協力とご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。

【本年の主な活動】

○各支部 ハートクリーン活動

少年会

団長 近藤直光

本年も若年層を担う少年会の育成委員から信仰の喜びを写し出し、しっかりと子供達にこの教えを伝えさせていただき、立派なようぶくへと繋げるよう努めていきますので、今後ともご理解とお力添えをお願い致します。

【活動方針】

『日々に陽気ぐらしを實踐し、

その喜びを子供たちに伝えよう』

【重点項目】

- ・ 教会おとまり会・教会こども会の全隊実施
 - ・ 支部ひのきしん活動の実施と家族ぐるみの参加
 - ・ わかぎ育成の強化
 - 直属団での子弟練成会と
 - 教区団でのわかぎ練成会の実施と充実—
 - ・ 講習会・研修会を通じた活動を担う人材の育成
- 【立教182年こどもおぢばがえり】
- ・ 一人でも多くの子供に
- おぢばがえりの喜びを伝えよう！

【本年の主な活動】

- 4月2日 教祖誕生春まつり
- 7月29日～8月6日 少年ひのきしん隊本部練成会
- 8月18日～19日 親子キャンプ練成会（H.P.磐青）

学生担当委員会

委員長 杉澤元和

【基本方針】

『誠の心で人材の育成につとめよう』

重要項目

・ 学生生徒修養会、高校生の集い「まなびば」への参加を呼びかけよう

・ 別席をすすめ、ようぼくへと導こう

道の後継者育成で、学生の間信仰心を育む事はとても大切です。学生が仲間と学生会活動を通して自身の信仰と見つめ合い、深めていくためにも先に歩む我々が学生を支え、導き、育てていく使命があると思います。まずは会活動に参加できるように、皆様から学生へのお声がけをよろしくお願い致します。

【今年の主な活動】

○ 8月18～19日 高校生の集い「まなびば」

○ 8月末 東北ブロック大学生の集い

「ワーク&トーク」

○ 9月中旬 道の学生ひのきしんデー

○ 3月28日 春の学生おちばがえり

道友社

代表社友 関本 啓

「天理時報普及推進活動」に手配り活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。2月末現在、天理時報購読増部目標にはほど遠い状況です。福島教区だけではなく、全教で減部状況が止まりません。各教会にお届けした直近数年の購読状況をもう一度ご覧いただいで、購読が止まりませんよう、また再購読いただけますよう、ご案内をお願いします。

「天理時報はおちばの風を届けます」

福島教区はこの活動の出発が遅れました。年度内の活動で収束する事なく、これからも天理時報増部、手配りにお力添えお願いいたします。

教内各会で機関紙の電子化が進んでおります。

「全教一斉ひのきしんデー」の開催要項も天理教ホームページの教区・支部の情報ネットを通じて閲覧いただけます。情報ネットの活用のでびきをお配りしております。簡単ですので是非ご活用ください。

厚生部

部長 二瓶善一郎

「互い立てあい助け合い」。お道は児童、障害者、高齢者への福祉、受刑者への矯正・保護など活動の幅を広げてきました。なかでも里親活動に取り組み、天理教関係者は多く、日本中で受託されている里子の1割強を養育しています。

もともと教会には、身寄りのない子どもやお年寄り、病気や障害を持つ人など、難渋を抱える人々と生活を共にするという、おたすけの伝統があります。教会は、福祉の制度や環境が整う以前から、その一端を担ってきたといえます。

また、天理教が積極的に推進してきたことの一つに、「献血ひのきしん」があります。これは、自身の血液を提供するだけでなく、多くの方に協力してもらおう呼び活動を、それぞれの支部で実施しております。

教区厚生部は、右記に関係する研修会や講座・活動に参加を呼び掛ける共に、啓発活動を行っていきます。

災害救援
ひのきしん隊

隊長 生江一行

天理教災害救援ひのきしん隊（災救援）は、全国規模の災害救援の組織です。いつかは分からない次の有事に備え訓練を重ね、手を取り合い、自分の都合を捨て、人々の支えになりましょう。

本年は5月29日～31日の日程で、秋田県男鹿市にて「東北・北海道ブロック訓練」をさせて頂きます。（責任人員20名）人の為にとのおたすけの心で出勤をお願い致します。



災害救援ひのきしん隊
東北・北海道
ブロック訓練
IN 秋田・男鹿市
なまばげオートキャンプ場

福島教区隊 要項

- 5月28日 18時 福島教務支庁 集合
- 29日 早朝4時 秋田へ出発
- 31日 18時 福島教務支庁 解散
- ・作業内容 雑木伐採（チェーンソー使用）
- ・交通手段 マイクロバス1台 ワゴン車2台
- ・参加人員 20名（責任人員）

災害救援ひのきしん隊 福島教区隊

道の
教職員の集い

代表世話人 古川善一

昭和30年代、青年会提唱による職域布教によって誕生したのが「道の教職員の集い」です。職域における信仰者のあり方、教職者としての信仰の実践等について相互に研鑽し、合わせて親睦と経験交流をはかることが集いの原点です。他の職域の集いが消えて行く中、唯一、教職員の集いだけが先輩方の尽力により、60年以上にわたり活動を続けてきております。

教祖百三十年祭の時、真柱様は、「人を育てるためには、まず育てようとする者の成人の努力が欠かせない。」と仰りました。教育のプロとして、まずはようぼくとして自らが成人にするために、日々、どのように歩むか、お互いに考えてみませんか。

【今年度の行事案内】

- 「きょういく講演会」
 - ・ 6月23日 いわき市労働福祉会館
 - ・ 講師 梅田正之先生（天理教校学園高校教諭）
- 第62回 道の教職員 夏の集い
 - ・ 日時 8月7日（水）～8日（木）
 - 成人塾 8月16日～17日

★新規会員募集中★

学生会

「春の学生おぢばがえり」6名参加

3月28日の「春の学生おぢばがえり」式典に向けて、福島教区 28日、朝づとめの後、平澤教区長先生よりご挨拶をいただき、神様の頼みは「おつとめ」「人をたすける心」「思案するように」と3つあるとのお話を聞かせていただいた。10時からの式典では、中田善亮・表統領先生のお話や、会員代表の「道の学生の歩み」に真剣に耳を傾けた。



午後は、それぞれの直属に別れて「直属アワー」に参加し、夕食後、「ほくほく東北陸」と銘打って、東北、北陸の各教区からの参加者と共に、ゲーム等を通して親睦を深め、楽しい思い出を乗せて帰路についた。

教職舎ふしん 上棟式執行



10月に地鎮祭が執行され、ふしんが始まった教務支庁の教職舎。駐車場の塀や隣接との境界線の問題が生じ、建築確認が遅れた影響で、当初の予定より工程が遅れていたが、3月2日、平澤教区長を祭主に、上棟式が雅楽が鳴り響く中、厳

かに執行された。祓いや塩水によって祭壇、祭員をはじめ、参拝者、教職舎の四隅が清められた後、教区長が玉串奉献、祭文を奏上し、事の由を神様に申し上げた。続いて、教区役職者と工事関係者が玉串をあげた。次いで、大工

の棟梁の手により棟札をあげて頂いた。その後、祝い酒を召し上がり、教区長と工事関係者より撒き餅や小銭が撒かれ、棟上げを祝った。工事は、男女別のトイレの改修工事は1月には完成し、現在、既に使われている。教職舎の方は、4月現在、屋根に瓦が葺かれ、内造りの工事が進んでいる。6月末に竣工を目指して着々と進められている。

工事期間中、教区管内の皆様方には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご了承の程をお願い致します。

教務支庁教職舎ふしんの様子（4月1日撮影）



内造りをしている様子



瓦を葺いている屋根の様子

各地で「ようぼく成人講座」開催

郡山支部



郡山支部（加藤和宏支部長）では、1月20日、須賀川分教会を会場に開催し、31名が参加した。講師に橋本忠知先生（行理山分教会長）をお迎えし、「十全のご守護」をテーマに、日々のいただく神様のご守護について、改めて認識を深めた。講師の先生も、ご自身の体験も交えながら、具体的に十全の守護についてわかりやすくお話をされ、参加者からは、「夫婦の理合いについてよく分かった。」との感想も聞かれた。

(K・K)

福島支部



福島支部（椿秀教支部長）では、3月3日、福島教務支庁を会場に開催し、41名が参加した。講師に木島勇道先生（君福分教会長）をお迎えし、「ことばづかい」をテーマに、講師のお話を聞いたり、5つのグループに分かれて話し合ったりして、

日々の暮らしの中で教えを実践することを学んだ。

この道は神様のお言葉を聞かせていただくところから始まっていますが、信仰によつて成人した心は、まず口に言葉に表れ、そして行いに表れることを、今回改めて考えさせられた。そして、講師の先生のご自分の体験話を聞かせていただいて、それぞれに思い当たるところがあり、日々の言葉の遣い方を反省させられた。自分自身の言葉遣いによつて、相手を思いやることの大切さを学ばせていただいた。

寒い中、たくさんの方に参加していただき、大変ありがたかった。これからの支部活動にも、また多くの参加者が得られるように、尽力していきたい。

(H・T)

立教182年4月2日(火)

於・福島教務支庁

福島教区

教区祭式次第

一、祭儀式 教区長祭文奏上

一、おつとめ

座りづとめ

主事・各支部長・教区婦人会

よろづよ八首

少年会・学生会

一、二下り目

青年会・女子青年

三、四下り目

いわき支部・相双支部

五、六下り目

耶麻支部

七、八下り目

会津支部

九、十下り目

福島支部・安達支部

十二、十三下り目

郡山支部・田村支部

一、「天理時報普及推進大会」

講師 本部長・松村登美和先生

一、御礼参拝・教区長あいさつ・新役職者紹介

一、「親神様の守護」斉唱・着替え

昼食・解散

立教182年 全教一斉ひのきしんデー

テーマ「感謝の心を寄せ合って 一手一つにひのきしん」

◎福島教区管内ひのきしん会場◎

福島	特別養護老人ホーム「ファミリーユ」	4月29日	9:30～11:30
安達	霞ヶ城公園	4月29日	9:45～11:30
	蛇の鼻遊樂園	4月29日	9:45～11:30
郡山	猪苗代湖舟津浜	5月4日	10:00～12:00
田村	三春歴史民俗資料館前公園	4月29日	10:00～11:30
耶麻	川桁・熊野神社	4月29日	9:30～11:00
	喜多方市・桜ヶ丘公園	4月29日	9:00～12:00
	坂下・台ノ宮児童公園	4月29日	10:00～12:00
	猪苗代・亀ヶ城公園	4月29日	13:30～15:00
会津	会津若松市少年の家	4月29日	9:30～12:00
いわき	いわき市こども元気センター	4月29日	9:00～11:30
	松ヶ岡公園	4月29日	9:00～12:00
相双	JR新地駅	4月29日	6:00～7:00

「教区・支部情報ネット」(<https://tenrikyo-regional.net>) (左のQRコードからアクセス出来ます)でも会場を確認できます。また、SNS (フェイスブック、ツイッター、LINE) を通じて情報を共有できます。ぜひ、友人知人への声かけにご利用下さい。

